

DHU 数理・データサイエンス・AI プログラム準備委員会議事録
デジタルハリウッド大学
デジタルコミュニケーション学部

2023（令和5）年度 第1回（オンライン開催）

（日 時） 2023 年 5 月 9 日 14：40～15：00

（構成員）（番号は準備委員会規則第4条の号、以下同じ）

- （1） 学部長 高橋 光輝 教授
- （2） 事務局長 池谷 和浩 学部事務局長
- （3） その他、学部長が必要と認めた教職員
廻 健二郎 学部准教授
伊藤 真弓（大学事業部学生支援グループ）

（出席者） 構成員に同じ

（陪 席） 小野 妙子、岡田 淳子、土居 祐莉恵（大学事業部学務グループ）

議題

- （1）2022 年度リテラシーレベルの実施結果と自己点検・評価
- （2）2023 年度応用基礎レベルの新規認定申請について
- （3）各レベルの改善について

事務局 伊藤より以下の説明があった。

- ・リテラシーレベルについて
昨年度よりも履修者が減少傾向である。
履修者数が少なく更に単位取得率が低い「統計基礎」の対応が必要と考えられる。
- ・応用基礎の認定申請について
認定条件を満たすため既存の5科目を抽出した。
定員が少ない特別講義や演習があるため、2022年度の実施結果は履修・修了共2名であった。
特別講義の定員の制約があるため履修率は低いですが、内容が高度になるので致し方ないとする。
- ・改善について
他大学では、モデルカリキュラムに沿った科目新設や、学科新設の動きがある。本学でも、例えば必修科目の「Office リテラシー」に、認定上必要な要素を盛り込み、科目を集約したい。
履修率、単位修得率の低い科目については要因分析し、教員と改善の相談をしていきたい。
個々の科目の見直しをするが、2025年度に見込まれている高校の情報科目の動向を見ながら、本学らしさを活かして2つのレベル全般を検討したい。

(質疑)

- ・特別講義 E はどのような講義か。なぜ履修人数が増えないのか。(廻健二郎准教授)
- 三浦先生による AI やロボットの講義で、履修定員が少ない。人数という点では「統計基礎」の履修希望者が少ないのが課題と捉えている。(伊藤真弓)

応用基礎レベルの認定申請について委員へ諮ったところ、出席者全員の異議なく承認された。

以上